

# AAA NEWS

## 熊本広告業協会ニュース

Kumamoto Advertising Agencies Association

事務局/〒862-0971熊本市大江4-9-13 (株)アド・スーパー・ブレン 内  
TEL.096-371-2100 FAX.096-371-2106

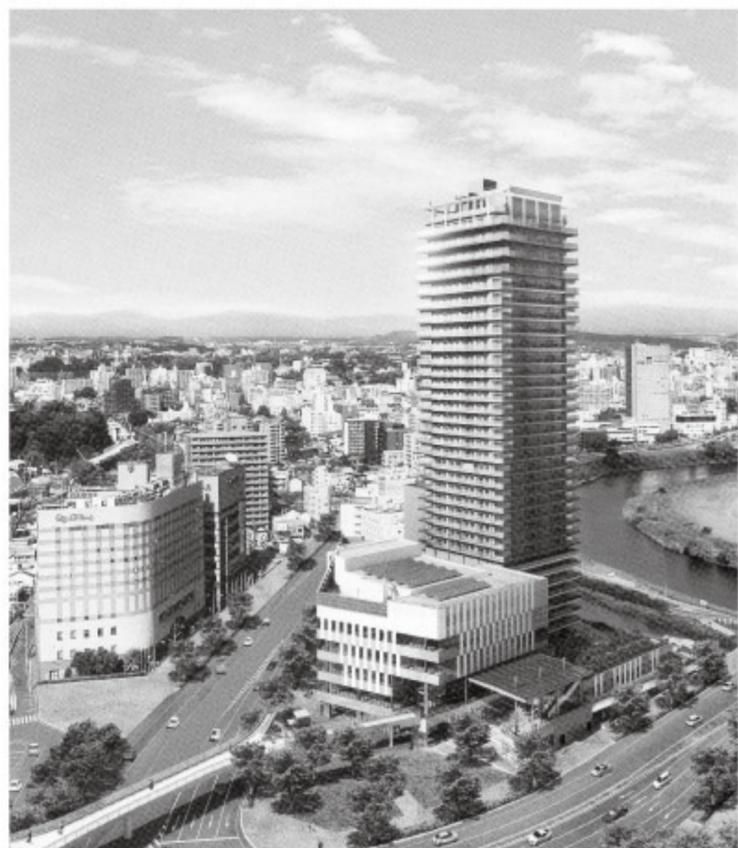
第9号

朝日広告社熊本支社  
アド・コム  
アド・スーパー・ブレン  
共栄コア  
熊日広告社

熊本エージェンシー  
サンコーコミュニケーションズ  
総合企画  
ダイヤ企画  
TMプランニング

電通九州熊本支社  
西広熊本支社  
西日本新聞広告社熊本  
ネットワーク  
パーソンズフレックス

プランニング・ドゥ・グループ  
マックスファイブ  
メディックス  
ゆうプランニング  
読売広告西部熊本支社 (50音順)



熊本駅前再開発ビルの完成イメージ

2011年の全線開業まであとわずか。かつての東海道、山陽新幹線は開業によってもたらされた効果により、夢の超特急と呼ばれたが、今回は果たしてどのような影響を地域に与えるのだろうか。また広告を生業とするものにとつての課題は何なのか。その視点から、肥後銀行のシンクタンクである(財)地域流通経済研究所の、分析レポートの一部を紹介する。

# 九州新幹線は “夢の超特急” になり得るか!?

「外」と「内」、双方に向けたPR活動を!

九州新幹線鹿児島ルート全線開業に向けた課題

九州新幹線鹿児島ルートの全線開業まで、残すところ一年半余り。鉄道の軌道ばかりではなく、駅周辺の工事も徐々に進み、開業が迫ってきたことを肌で感じるこの頃である。

しかしここに、気になるデータがある。当研究所が昨年11月に実施したネットリサーチによると、九州新幹線鹿児島ルートの全線開業を「知らなかった」と答えた人は、広島県で31%、大阪府で41%にのぼったのである。九州・山陽新幹線の相互乗り入れによって交流の増加が見込まれる両地域において、全線開業があまり知られていないということ、は、大きな問題であると思われる。

当研究所では、その前年にあたる2007年7月にも同様の調査を行っているが、その際の認知度は広島県が29%、大阪府が42%という結果であ



新大阪ー鹿児島中央間を直通運転する新型車両も試運転中

った。もちろん、この2つの調査はサンプル数も調査方法も異なっているため、単純に比較することはできないが、この1年強の間に認知度はまったくと言ってよいほど上がっていないことがわかる。

(中面へ続く)

# 元気な熊本は広告から!

この1年間、熊本で話題になった広告、役に立った広告、目立った広告などいろいろ登場しました。元気なクリエイターと広告作品を、ほんの一部ですがご紹介します。

**VOL.4**

## TSUTAYAnewcon



熊本日日新聞 朝刊 全15段カラー見開き

### 映画・本・音楽の情報を一挙に朝刊の読者へ。

60年代~80年代は音楽や映画に素晴らしい名曲、名作がたくさん生まれました。ある意味マニアックな映画ファン、音楽ファンの多い世代とも言えるのではないのでしょうか。今回はこの時代、リアルタイムに接触した、接触したかったという読者層へ強く訴求したかったのです。本は書籍=新聞と言われる位、大きなアイテムであり、まさに新聞広告ならではのインパクトある作品となりました。クーポン券など面倒な中高年の方も含め1,500枚程持参されたそうです。娯楽が氾濫してる現代でも映画、本、音楽は不変なんですね。そして心の豊かな日本に還るために。

株式会社ゆうプランニング



サンコーコミュニケーションズ

熊本城入園者日本一記念『くまもと城下まつり〜おでかけわくわく城下町〜』を開催

熊本城入園者数日本一になったことを記念し、さらに中心市街地及び地域商店街の活性化を目的とした「くまもと城下まつり」を5月31日熊本市中心部で開催しました。「まちなかに遊びに行こう!」をキーワードに今年は昨年を超える7万5000人も多くの人出でにぎわいました。メイン会場の通町筋電停周辺を歩行者天国にして、官民協働による様々なステージイベント、展示・販売が行われました。

熊本の魅力や行政の取り組み等を市内外に情報発信し、熊本城や中心市街地との連携や回遊性を高め、にぎわいを凝縮したイベントになりました。



dentsu  
株電通九州 熊本支社

熊本県広報課「平成20年度県外向け広報」においてスザンヌ宣伝部長が熊本県のPRに大活躍!

熊本県の自然や歴史、文化、グルメなど多彩な魅力を全国の方々に発信する熊本県の「県外向け広報事業」。

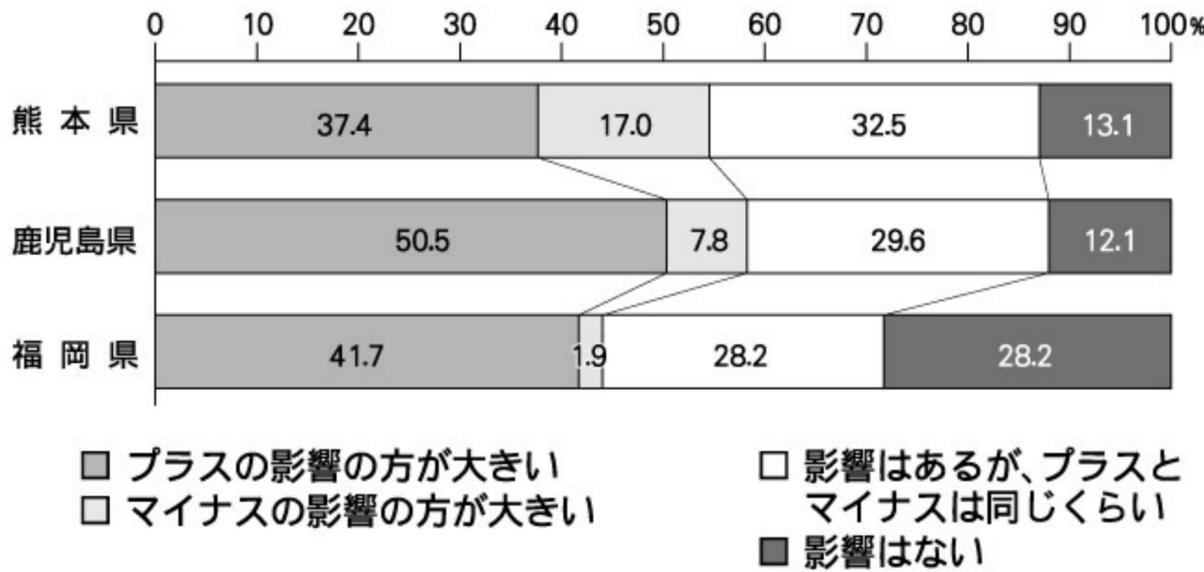
平成20年度の県外向け広報事業は、我々のご提案を採用頂き、熊本県出身のタレント、スザンヌさんを宣伝部長に任命し展開しました。スザンヌさん起用の理由は何と言ってもメディア露出が多く、高いパブリシティ効果が期待できたこと。「おバカキャラ」で人気のスザンヌさんを宣伝部長に任命するといったネタが大きな話題になると考えました。また、スザンヌさん本人がふるさと熊本のことを大好きで、事ある毎にテレビなどで熊本出身であることPRしていたこともあり、熊本県の

素晴らしい先導役として適任と考えたからです。

スザンヌ宣伝部長起用は予想以上の反響がありました。特に宣伝部長任命式にはキー局をはじめとする38社が取材に訪れ、会場の東京の銀座熊本館が報道陣で溢れんばかりの大盛況ぶりでした。その他、新聞、雑誌、イベント、WEBなどすべてに生活者の大きな反響があり、熊本県サイドからも高い評価をいただきました。

最後に、今回の事業が大きな話題となったのは、「おバカキャラ」のスザンヌさんを宣伝部長に起用することに対する、熊本県様の思いが伝わった判断があったからこそだと思います。

# 九州新幹線鹿児島ルート全線開業が 地域に及ぼす影響

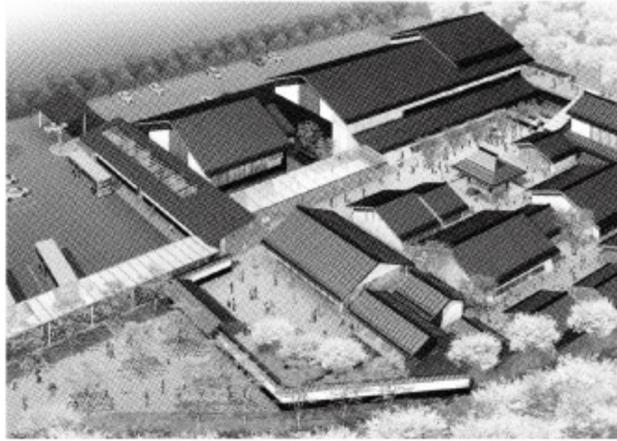


そもそも熊本県では、新幹線に対する関心はさほど高くない。熊本県民の主な旅行先は「福岡」であり、その福岡までの移動には現状でも十分に高い利便性が提供されている。一方で、熊本県民が大阪以東に向かうときには、鉄道ではなく航空路を利用する人が圧倒的に多い。となれば、熊本県民の

新幹線への期待感が高まらないのも当然と言えよう。さらに、人だけではなく物も輸送可能な高速道路網の整備が進んだことや、規制緩和による航空料金の大幅な低下などもあり、整備新幹線の計画が決定された1970年代とは状況が大きく異なっている。その結果、かつてのように新幹線の開

業を「夢の超特急」と無邪気に喜ぶことは難しくなっており、熊本県民が「危機感」を強く持つことも当然なのかもしれない。しかしながら、「新幹線は必要ない」と言うことは、事実上不可能である。計画時とは異なり、現在の新幹線整備事業は多額の地元負担を強いるものであって、その負担に見合う活用を「しなければなら

ない」と考えるべきである。そして、住民レベルで意識が盛り上がりがない熊本県だからこそ、あえて意図的にでも「盛り上げる演出」を行うことが必要なのではないだろうか。たとえば、2010年12月に東北新幹線全線開業を控える青森市では、まちの至るところに「新幹線」の文字が踊り、市民参加・市民主導型のイベントも多数行われている。こうした小さな取り組みの積み重ねが、住民意識の盛り上がりにつながっていくことだろう。



新しい市内観光の拠点として期待される  
熊本城桜の馬場観光交流施設の完成予想図

財団法人地域流通経済研究所  
研究員 小川 阿希子



青森市内中心部再開発ビルの掲示物  
県庁・市役所などにも横断幕が掲示されている

熊本の女性に役立つ新聞です

## リビング熊本

◆リビング新聞は仙台から鹿児島まで全国65エリア(版)、917万部をネットワークしています。  
◆発行部数/26万228部 創日本ABC協会部数認証

熊本市のカバー率  
**87.1%**

- \*タブロイド判13段組
- \*毎週土曜日発行
- \*リビングレディが一般家庭に直接ポスティング

熊本リビング新聞社  
TEL:096(359)3311 FAX:096(311)1088  
〒860-8511 熊本市水道町8-6 朝日生命熊本ビル8F  
<http://www.livikuma.com/>

市民が主役のFM791

## 子どもラジオ局

in 鶴屋東館B1F

アナウンサーは小学生!!

毎週日曜  
午後2時～  
オンエア

FM791  
<http://fm791.jp>

FMK  
エフエム・クワイエット

さよなら「限界」、  
さよなら「境界」。

NO\*  
LIMIT!  
\*FMK

広く、深く、そして近く。

<http://fmk.fm>

熊本/77.4MHz 阿蘇/81.3MHz 小国/80.4MHz  
人吉/82.0MHz 五木/81.3MHz 牛深/76.9MHz  
南阿蘇/76.8MHz 御所浦/78.4MHz

熊本朝日放送開局20周年スペシャル

183万人の秋まつり  
KAB

## 元気フェスタ

2009 入場無料

10月24日(土)・25日(日)  
10:00~17:00

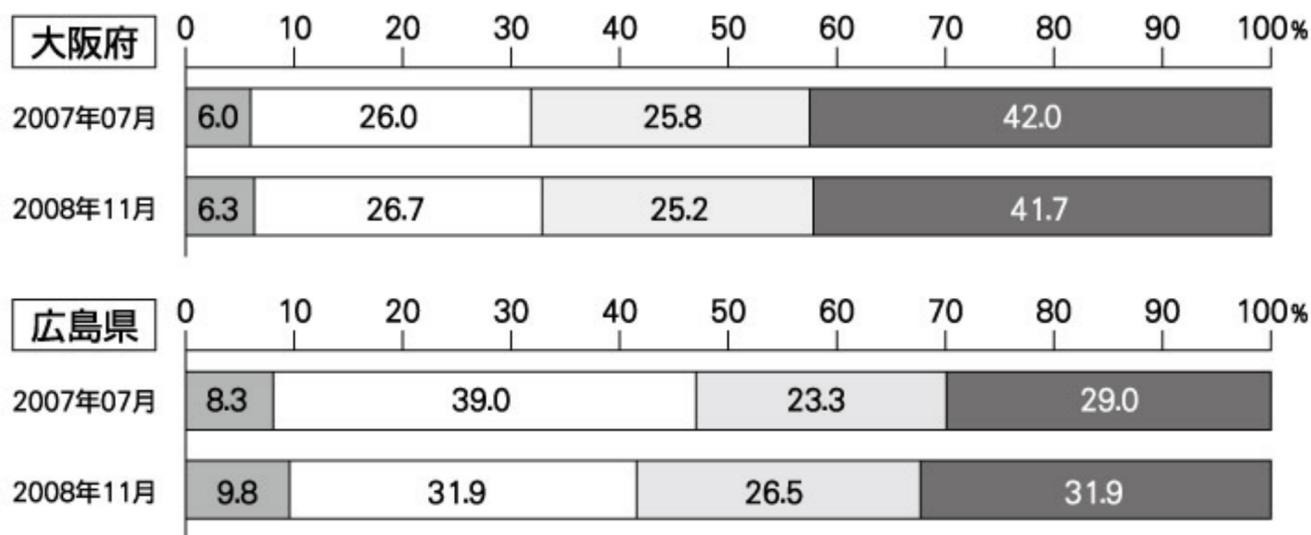
グランメッセ熊本

今年も元気に  
開催決定!!

一本丸 20th KAB KAB熊本朝日放送  
<http://www.kab.co.jp>  
【お問い合わせ】KABイベント ☎096-359-9051

# 九州新幹線鹿児島ルート全線開業の認知度

(既存調査との比較)



全線開業の時期も含めて知っていた  
 全線開業することは知っていたが時期は知らなかった  
 何となく耳にしていた程度  
 知らなかった

今回のネットリサーチの自由回答をみても、全線開業に関して「アピールが弱い。認知度をもっと高める必要があると思う」、「今回のアンケートに答えるまで、ほとんど知らなかった」といった意見が散見された。また、

「(熊本県の)特産品や観光地が不明。宮崎のようにアピールしてほしい」といった声もあり、残念ながら熊本サイドからの情報発信は不足していたと言わざるを得ない。

(右下段へ)



本体工事が進む新幹線駅舎(東横インより撮影)

ただし、今回のアンケートの実施後も、行政・民間問わず実に多くの取り組みが行われており、また「スザン又宣伝部長」の活躍などもあり、熊本県の知名度は飛躍的に高まっているように思う。こうなると、逆に気になるのが熊本県内での盛り上がりである。同アンケートの結果を見ると、認知度や利用意向はさすがに高いものの、鹿児島県と比較するとやや低めであった。さらに、全線開業が地域の社会・経済に及ぼす影響について尋ねたところ、熊本県では「マイナスの影響が大きい」という回答が17%と、鹿児島県(8%)や福岡県(2%)に比べてかなり高かったのである。



写真提供:くまもと経済

本体着工に入った熊本駅前の再開発ビル  
2012年春の完成を目指している

具体的なマイナスの影響としては、「観光客・ビジネス客に素通りされる」という回答が非常に多く、また「日帰りの観光客が増えて観光宿泊客が減る」、「他所で買い物する機会が増えて、地域のお店の売上が減る」といった回答も多かった。このように、熊本県においては、全線開業の影響として“素通り”や“ストローク効果”といった悲観的なイメージを持っている人が少なくないことがわかった。

www.kkt.jp

本橋 馨 村上美香

月に、つながるテレビ

月~金 23:45

5時台

プレゼントのご案内、番組へのご意見ご感想などお待ちしております!

pure-2009@tku.co.jp

TKUスーパーニュース

ぴゅあピュア

毎週 月~金 夕方4:52~7:00

6時台

40th TKU

いいことあるほ RKK

夕方4時

月~金曜 夕方4時

熊本の「今」を活々と楽しく、元気に伝える「情報生ワイド番組」

司会:  
木村和也(月~金)  
長船なお美(月~水)  
野満美子(木・金)

RKK 熊本放送

SURL: rkk.jp

NEW! 24時間申込を開始しました

※インターネット限定

あなたのメッセージが熊日にのる。Webにのる。携帯で見れる。

くまにちタウンパケット

http://packet.kumanichi.com

お申し込みは携帯・パソコンから

http://packet.kumanichi.com

熊本日日新聞

本社/熊本市世安町172番096(361)3111